



何をおいても後継者の育成ができる社長だけが勝ち残る

組織とは一言で言えば「首のすげ替え、人の入れ替えがいつでもできる集団」である。

首のすげ替えがいつでもできる集団とは、その人がいなくても、あるいはその人でなくても、目的遂行の活動を続けることができる集団である。代替りの人がいるのが組織であり、代替りの人がいない集団は組織ではない。

しかし・・・中小企業の80%は組織になっていない。社長が急死すれば代替りがいない。吸収合併してもらうか、力の無い人を社長にして、次第に衰亡していくかである。営業部長が辞めて売上が低下し、また、顧客の信用を無くした会社がある。技術部長が辞めて業績が悪化した会社もある。穴埋めできる代替りの人、つまり人材がいないのである。

会社自体の使命は「存続」にあるが、そのためには組織が必要である。特に、幹部として指導的立場に立てる人材を作っていくことが何よりも重要である。会社は永続することが尊い――。

